

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	ホームの近隣に民家は少なく、町内会にも加入していない状態であり、地域との交流は十分とは言えないが、茶・花・書道等のボランティアの受入れにより地域との交流は増加傾向にある。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月に1度行政（市高齢介護課）、地区（民生委員）、家族を招いて開催し、活動報告・今後の活動予定を主な議題としている。会議終了後家族との会合を持ち、雑談の中で意見要望等の収集を図っている。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議には市から担当職員（高齢介護課長）の出席を得ており、協力関係は構築されている。 市からは、困難な状態の老人受け入れについて相談を持ちかけられることもある。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	運営推進会議終了後に家族会（雑談形式）の場を設けており、意見要望を聞き出す工夫をしている。運営推進会議、家族会ともに参加者は多い。 家族アンケートには、意見・要望・不満の声より感謝の言葉が多く、家族関係の再構築が可能となった家族から感謝の言葉もあった。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>運営推進会議と家族会を同一日に設定することによって、高い参加率を維持している。会議では、地域交流の推進が今後の課題となる。</p>
--

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	<p>(例示)</p> <p>自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取り組み	<p>(例示)</p> <p>運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <p>運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <p>家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。